

校区からの意見要望に対する町の対応方針

令和4年6月30日
説明会 資料

項目	校区からの要望や意見 【要約】	①三成小敷地	②仁多中隣接地	補足
安全な登下校 (通学手段)	<ul style="list-style-type: none"> 児童の登下校や学校生活の安全性が十分確保されること。(阿井 R3年10月) 安全に通える学校を作してほしい。(布勢 R4年3月) 安心して通える学校づくりを確実に進めてほしい。(亀嵩 R4年3月) 	【基本方針】 原則全員が着座できるよう必要に応じ、大型バスの車両整備を図るとともに、奥出雲交通の輸送能力ではカバーできない経路は、町が整備する計画の専用バス等により運行する方針。 【下校時のダイヤ】 学年毎に下校時刻が異なるため、奥出雲交通と調整を図り、できる限り、これに対応するバスダイヤとする。(公共交通計画はこのことを踏まえて計画策定予定)		各校区内でのバス経路、乗降場所や放課後の過ごし方等については、建設地に関わらず学校再編統合推進委員会で、協議調整を図る予定。
		【乗降場所】 安全に乗降できるよう乗降場を護岸側に新設する計画。	【乗降場所】 現仁多中乗降場所をそのまま利用。	
体育館	<ul style="list-style-type: none"> 統合小学校が最良の教育環境となるよう今後も最大限検討すること。(阿井 R3年10月) 同一敷地内での体育館建設を望む。(三沢 R3年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 三成小体育館を利用。(必要な修繕等は実施) ただし、体育館の改築要望もあり、今後の町民体育館耐震対応の一案として、町民体育館兼用の施設(例:1,200㎡程度)として改築する考え方も検討の余地がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎隣接地に小学校専用として新築予定。(800㎡(20m×40m)程度) ただし、今後の町民体育館耐震対応の一案として、町民体育館兼用の施設として整備する考え方もある。(その場合、実現が可能な敷地造成・面積拡充が必要) 	統合小学校体育館を町民体育館兼用施設として建て替える場合、現町民体育館敷地並びに周辺の一体的な再開発については検討の余地があると認識。
プール	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内のプール設置について、協議会等へ資料を示し設置の要不要を改めて協議すること。(亀嵩 R3年10月) 統合小学校が最良の教育環境となるよう今後も最大限検討すること。(阿井 R3年10月) 同一敷地内でのプール建設を望む。(三沢 R3年10月) 	【基本方針】 小学校専用プールは新設せず、三成公園プールを利用		将来三成公園プールの改築が必要になった場合は、プール建設場所を検討する必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の移動は、奥出雲交通または専用バスにより送迎する。 現三成小プールは解体し、校庭拡張を行う計画 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校専用プールは新設せず、三成公園プールを利用。 児童の移動は、徒歩による。 	
校庭	<ul style="list-style-type: none"> 統合小学校が最良の教育環境となるよう今後も最大限検討すること。(阿井 R3年10月) 同一敷地内に十分な広さの校庭を望む。(三沢 R3年10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 統合校舎配置のレイアウトとして、教室棟・プール解体と用地買収実施に伴う敷地拡張により約10mほど護岸側へ後退し配置することによって現校庭を拡げることも検討している。 【面積見込:5,700㎡】 現校舎(管理棟、ランチルーム)位置のまま建て替える場合、用地買収する部分は教職員等の駐車場、バス乗り入れエリア専用となるが、教室棟、プール、池等を解体整地することにより、1周150mトラック、直線100mを配置できる校庭は確保可能。 【面積見込:5,300㎡】 	<ul style="list-style-type: none"> 仁多中校舎裏をレッドゾーン対策工事に併せ敷地造成することにより、1周150mトラック、直線100mを配置できる校庭を確保する考え。 【面積見込:5,200㎡】 	<ul style="list-style-type: none"> 三成小校庭面積 3,500㎡ 横田小校庭面積 5,450㎡ ※町内最大校庭 鳥上小校庭面積 6,486㎡ ※三成小学校敷地となった場合でも、仁多中学校のレッドゾーン対策工事はなるべく早く実施する考えである。
早期の再編	<ul style="list-style-type: none"> 再編時期が不透明等課題があるが、優先順位を明確にして進めてほしい。(三成 R4年3月) 統合時期について早期に決定するよう最大限の努力をお願いする。(阿井 R4年3月) 現段階で考える最も早い令和8年4月には再編できるよう進めてほしい。(三沢 R4年3月) 	新町長が建設地を判断し、10月末までに議会承認を得ることにより令和8年4月再編統合を見込んでいる。		
未耐震校舎の仮設対応	<ul style="list-style-type: none"> 一刻も早く仮校舎について提案してほしい。(三成 R3年10月) 耐震対応について早急に配慮願いたい。(布勢 R4年3月) 「仮設校舎の早期建設」など再編の向け優先順位を明確にして進めてほしい。(三成 R4年3月) 布勢小、三成小の仮設を早期に対応すべき。(高尾 R4年5月) 	「統合小学校建設地が決定することによって、仮設校舎設置の許可が下りる」ため、統合小学校建設地決定次第準備を進め、令和5年度2学期からの運用開始を予定している。		